学校番号	1201

令和８年度　総合科

教科	総合	科目	(学)インターンシップA	単位数	1単位	年次	1・2・3年次
使用教科書	なし						
副教材等	自主教材						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・保育施設などでの実習を通して子どもと関わり、子どもの特性や発達の状況を理解し、高校生としてそれを助長する働きかけの方法を模索していく。
・保育施設などでの実習を通して、幼稚園教諭・保育士等、現場で働く社会人の態度・意識に触れ、将来の自分の職業や役割を考察する一助とする。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・保育施設での職業体験を通し、幼児を指導する上での知識及び技能を身につける。
・社会人の一員として望ましい心構えについて理解する。

【思考力、判断力、表現力等】
・保育現場での体験を通じて、子どもとの関わり方や保育者の役割について考察し、自分の言葉で表現、発信する力を養う。
・実習中に直面する課題に対して、状況を的確に判断し、適切な行動を選択する力を育む。

【学びに向かう力、人間性等】
・子どもとの関わりを通じて、思いやりや責任感、協調性を育てるとともに、保育という仕事への理解と尊敬の念を深める。
・実習を通じて自らの進路や将来について主体的に考え、学び続ける姿勢を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・年代別の子どもの発達の状況を理解する。	・子どもの発達の状況に応じて関わる。 ・子どもの気持ちに寄り添い、必要な助けを行い、言葉かけをする。	・実習において、積極的に子どもと関わり、現場の先生方の指示に従い、学ぶ。
評価については、可か不可のみを示す。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
		・さまざまな年代の子どもと交流する。 ・発達の状況の違いを知る。 ・子どもとのかかわり方を考察する。	a:子どもの発達について知る。 b:関わり方を考察する。 c:自分の役割を考え、積極的に子どもと関わる。	活動 観察 レポート	レポート 発表	活動 観察 レポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度